



2018年(平成30年) 2月10日



基地問題 ニュース 沖縄情報 社説・コラム 電子新聞 SNS デジタル特集 スポーツ ショップ

米軍 普天間・辺野古 地位協定 尖閣 東アジア情勢

トピックス&まとめ 放課後児童クラブアンケート 名護市長選2018 1935年の沖縄 沖縄空手 電子版アプリ 情報お寄せください

大弦小弦

2月10日(土) 紙面

[大弦小弦] 政府の方針に従うかどうかで、税金の使い道がこんなに変わっていいのだろうか...

大弦小弦

ご購入のお申込み



最大2ヶ月無料でお試し 電子新聞のお申込み

2018年2月8日 08:40 名護市長選2018 渡具知武豊 稲嶺進 アメとムチ 知念清張 米軍再編交付金

シェア 80

Tweet

0

G+

政府の方針に従うかどうかで、税金の使い道がこんなに変わってしまっているのだろうか。政府は名護市長選で全面支援した渡具知武豊さんの当選を受け、米軍再編交付金を本年度分から再開することを検討

▼さらに稲嶺進前市長時代に交付しなかった相当額も別の予算措置で支給できないか精査する。新基地反対を公約に掲げた前市政が誕生した2010年から交付が凍結されていた

▼この始まりは、第1次安倍政権時代の07年に成立した再編特措法。成立当初から地元の分断を招く「アメとムチ」と批判を浴びた

▼米空母艦載機の受け入れを求められた岩国市は住民投票で反対の意思を示していた。だが、露骨な予算削減の圧力を前に市政が交代。米陸軍司令部の移転先となった座間市も08年に受け入れに転じた

▼一時的な再編交付金が持続的な地域振興につながるかは疑問だ。どこの自治体も財源は厳しい。だからこそ知恵をしぼる。問われるべきは基地負担を強いながら予算で懐柔を図る政府の姿勢だ

▼きょうから渡具知さんの新市政がスタートする。選挙戦では辺野古に触れず「海兵隊の県外・国外への移転」を公約に掲げた。再編交付金を受け取れば、地元は新基地容認とみられるだろう。多様な民意を取り込んだだけに、市民の分断修復という新市長に課せられた責任は重い。(知念清張)

30万円を億にした男が相場を解説 - 2018年3月大予測 株大暴落の前兆

なぜいま株価が乱高下するのか？株で勝つ人負ける人の違いとは何か

kabunogakkou.com



沖縄各地の空撮写真 地域かわら版

アクセスランキング

ニュース 解説・コラム

24時間

1週間

沖縄タイムス

平昌、開会式に竹島入った統一旗 北朝鮮応援団が持ち込み 2018年2月9日 20:37



これってホント? 誤解だらけの沖縄基地

posted with amazonet at 17.09.21

沖縄タイムス社編集局編 高文研

売り上げランキング: 24,236

Amazon.co.jpで詳細を見る